



日本製鉄株式会社

構造用厚鋼板 (Steel Plate for Construction)



算定単位

1 t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：東日本製鉄所 [鹿島地区、君津地区]

名古屋製鉄所,九州製鉄所[大分地区]

主な規格：造船、建産機、海洋構造物、風力、ライノ[®]イ[®]用母材、

ボイラー・圧力容器、ポンプノック、橋梁、

他分野向け各種規格

形状：厚鋼板

問い合わせ先

日本製鉄株式会社

厚板技術部 厚板商品技術室

TEL：03-6867-6401

https://www.nipponsteel.com/

登録番号	JR-AJ-22001E-A
適用PCR番号	PA-180000-AJ-06
PCR名	建設用鉄鋼製品（中間財）
公開日	2022年2月14日
検証合格日	2024年1月16日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AJ-24011
検証有効期間	2027年1月6日

PCRレビューの実施

認定日等 2023年5月10日

委員長 松野 泰也

千葉大学

第三者検証者*

外部検証員 富永 聖哉

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
の独立した検証

内部

外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った
審査員の名前を記載。

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	製造+間接影響※1	製造のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1300	2500	kg-CO2eq
酸性化	0.035	1.9	kg-SO2eq
富栄養化	0.025	0.046	kg-PO43-eq

内訳	項目	単位	【A1】～【A3】合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造	【D】 間接影響
	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	2.5E+03	4.7E+02	1.2E+02	1.9E+03	-1.2E+03
	オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	6.8E-05	6.9E-05	7.9E-10	-4.3E-07	-2.1E-07
	酸性化	kg-SO ₂ eq	1.9E+00	4.9E-01	6.6E-02	1.3E+00	-1.8E+00
	光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	1.3E-02	4.9E-03	1.1E-03	7.5E-03	-2.6E-01
	富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	4.6E-02	3.6E-03	7.1E-13	4.3E-02	-2.2E-02

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	7.0E+02 kg
再生可能資源	1.0E+03 kg
非再生可能エネルギー	2.6E+04 MJ
再生可能エネルギー	-4.0E+02 MJ
淡水の消費	5.0E+02 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目	単位
鉄 [Fe]	≥96.9 %
炭素 [C]	≤0.45 %
ケイ素 [Si]	≤0.70 %
マンガン [Mn]	≤2.00 %
リン [P]	≤0.035 %
硫黄 [S]	≤0.035 %

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	1.7E+00 kg
産業廃棄物 埋立物	1.7E+00 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

- ①間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上記の表【D】にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。
- 計算に使用したリサイクル率は93.0%（計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）
- ②輸送シナリオはPCRに従った。
- ③③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。
- ④電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- ⑤規格例：○海洋構造物：EN10225、API2W50&60 ○造船：各種船級品 ○建産機：ABREX®、WEL-TEN®、S-TEN® ○風力：SM、EN10025 ○パイプ・用母材：API5L(base material) ○ボイラー・圧力容器：SPV、(S)A516、(S)A387、(S)A537、(S)A553、(S)A841 ○パイプスタック：WEL-TEN® ○橋梁：COR-TEN®、NAW-TEN®、COR-SPACE®、SBHS、(S)A709

⑥-1. その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で生産している。

⑥-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位 (スクラップ LCI) は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

2024年1月 外販プロセスガスの取り扱いを修正した。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)